



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 株式会社 三ツ知

上場取引所 東 名

コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 直人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 樋口 哲也

TEL 0568-35-6350

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	10,000	△2.5	447	△22.8	461	△23.7	329	△27.6
28年6月期第3四半期	10,256	△0.9	579	△10.9	605	△17.8	455	4.6

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 398百万円 (67.5%) 28年6月期第3四半期 238百万円 (△72.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	130.30	—
28年6月期第3四半期	180.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	15,484	7,421	47.9
28年6月期	14,824	7,098	47.9

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 7,421百万円 28年6月期 7,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	30.00	—	20.00	50.00
29年6月期	—	10.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	35.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,029	△2.6	511	△16.5	525	△15.4	391	—	154.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	2,652,020 株	28年6月期	2,652,020 株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	120,392 株	28年6月期	120,251 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	2,531,727 株	28年6月期3Q	2,531,836 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績の状況	12
(参考資料)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用情勢にも改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国の景気の下振れ懸念、EU諸国の政治リスク、及び米国の新政権の政策運営が世界経済に与える影響が不安視されており、景気は先行き不透明な状況となっております。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、米国では堅調に推移し、日本国内においても、普通自動車等の販売台数は堅調に推移しておりますが、軽自動車の販売台数は減少傾向にあり、一部新興国におきましても、景気減速の影響等により、製造・販売ともに減少傾向となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは新たな経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の第1年目として、平成29年1月に本社機能を名古屋市守山区から工場があります愛知県春日井市に移転し、工場と一体となって物流・人事等の効率化をより一層進め、対処すべき課題の解消に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、日本・北米では堅調に推移いたしました。タイ及び中国での減収の影響により、売上高は100億円（前年同期比2.5%減）となりました。一方利益面につきましては、グループ全社を挙げての原価低減活動を行ったものの、減収の影響等により、営業利益は4億47百万円（前年同期比22.8%減）となりました。また、経常利益は4億61百万円（前年同期比23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億29百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

新規受注の増加及び海外輸出用の受注増加等により、売上高は84億38百万円（前年同期比3.2%増）となりました。一方利益面につきましては、増収及び一部製品の生産内製化の影響等により、営業利益は3億34百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

なお、当社グループは（セグメント情報等）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、受取ロイヤリティーに係る表示方法の変更を行っており、遡及修正後の数値で前第3四半期連結累計期間との比較を行っております。

②米国

新規製品も堅調に推移し受注も増加しておりますが、為替換算の影響により、売上高は8億90百万円（前年同期比1.9%減）となりました。一方利益面につきましては、増員により人件費等の経費が増加し、営業利益は39百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

③タイ

景気減速の影響によるタイ国内生産の減少の影響により、売上高は13億93百万円（前年同期比18.9%減）となりました。一方利益面につきましても、原価低減活動は行ったものの、減収の影響は大きく、営業利益は61百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

④中国

得意先からの受注減少により、売上高は2億98百万円（前年同期比29.6%減）となりました。一方利益面につきましても、減収要因等により、3百万円の営業損失（前年同期は32百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億59百万円増加し、154億84百万円となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加し、92億49百万円となりました。また、固定資産については、三ツ知春日井新工場建設による建物及び構築物の増加等により前連結会計年度末に比べ3億90百万円増加し、62億35百万円となりました。

負債の部では、流動負債が支払手形及び買掛金の増加はあったものの1年以内返済予定の長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少し、40億21百万円となりました。また、固定負債については、社債の増加、長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ4億97百万円増加し、40億41百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の増加等により、74億21百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様47.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、37億90百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4億61百万円、減価償却費3億90百万円、仕入債務の増加額1億60百万円等による資金増があり、一方で売上債権の増加額1億80百万円、未払金の減少額40百万円、法人税等の支払額1億78百万円等による資金減により、6億80百万円の収入（前年同期比29.3%減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入61百万円、定期預金の払戻による収入48百万円等の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出8億98百万円等による資金減により、8億74百万円の支出（前年同期比37.2%増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入16億90百万円、社債の発行による収入6億10百万円の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出17億4百万円、社債の償還による支出2億6百万円等による資金減により、1億68百万円の収入（前年同期比84.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年7月29日に公表いたしました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,894,099	3,878,445
受取手形及び売掛金	2,776,399	2,961,169
たな卸資産	1,963,825	2,068,156
その他	349,181	345,066
貸倒引当金	△3,793	△3,323
流動資産合計	8,979,712	9,249,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	770,903	1,474,449
機械装置及び運搬具(純額)	1,515,604	1,693,083
土地	1,944,475	1,912,207
リース資産(純額)	122,905	96,393
建設仮勘定	574,486	97,478
その他(純額)	200,313	208,201
有形固定資産合計	5,128,688	5,481,813
無形固定資産		
のれん	217,894	152,526
その他	58,172	83,111
無形固定資産合計	276,067	235,637
投資その他の資産		
投資有価証券	167,338	216,255
その他	286,990	315,545
貸倒引当金	△13,831	△13,870
投資その他の資産合計	440,496	517,930
固定資産合計	5,845,253	6,235,381
資産合計	14,824,965	15,484,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,935,949	2,101,165
短期借入金	353,050	293,000
1年内償還予定の社債	162,000	251,280
1年内返済予定の長期借入金	837,741	657,706
リース債務	113,515	117,731
未払法人税等	111,543	95,504
賞与引当金	19,197	87,487
役員賞与引当金	10,370	8,001
その他	639,069	409,755
流動負債合計	4,182,437	4,021,631
固定負債		
社債	935,000	1,259,080
長期借入金	2,117,575	2,288,414
リース債務	239,141	158,132
役員退職慰労引当金	52,515	56,481
退職給付に係る負債	32,397	36,221
その他	167,018	243,229
固定負債合計	3,543,649	4,041,558
負債合計	7,726,086	8,063,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	6,042,805	6,296,732
自己株式	△133,515	△133,714
株主資本合計	6,919,621	7,173,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,281	38,539
為替換算調整勘定	175,976	209,817
その他の包括利益累計額合計	179,257	248,357
純資産合計	7,098,879	7,421,706
負債純資産合計	14,824,965	15,484,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	10,256,171	10,000,580
売上原価	8,294,893	8,136,885
売上総利益	1,961,277	1,863,695
販売費及び一般管理費	1,381,505	1,416,281
営業利益	579,771	447,414
営業外収益		
受取利息	4,892	4,369
受取配当金	1,870	2,081
為替差益	—	20,610
固定資産売却益	46,603	12,983
その他	71,440	41,624
営業外収益合計	124,807	81,668
営業外費用		
支払利息	42,291	37,258
為替差損	25,314	—
その他	31,819	29,925
営業外費用合計	99,426	67,184
経常利益	605,152	461,898
特別利益		
投資有価証券売却益	13	0
特別利益合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	605,165	461,898
法人税、住民税及び事業税	190,952	143,854
法人税等調整額	△41,564	△11,834
法人税等合計	149,387	132,019
四半期純利益	455,778	329,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	455,778	329,879

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	455,778	329,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,907	35,257
為替換算調整勘定	△190,641	33,841
その他の包括利益合計	△217,549	69,099
四半期包括利益	238,229	398,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,229	398,978
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	605,165	461,898
減価償却費	326,518	390,304
のれん償却額	65,368	65,368
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△328	△471
賞与引当金の増減額(△は減少)	77,047	69,755
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,881	△2,369
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,037	3,509
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	948	3,966
固定資産売却損益(△は益)	△40,376	△12,354
受取利息及び受取配当金	△6,762	△6,450
保険解約損益(△は益)	△2,608	△8,957
支払利息	42,291	37,258
売上債権の増減額(△は増加)	107,025	△180,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	256,807	△90,511
未収入金の増減額(△は増加)	40,531	49,723
仕入債務の増減額(△は減少)	△294,728	160,273
未払金の増減額(△は減少)	△76,160	△40,505
未払費用の増減額(△は減少)	△14,769	2,579
その他	△2,435	△17,568
小計	1,082,691	885,188
利息及び配当金の受取額	6,780	6,592
利息の支払額	△41,940	△38,273
法人税等の支払額	△113,219	△178,363
法人税等の還付額	28,937	5,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	963,249	680,841

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△54,000	△54,000
定期預金の払戻による収入	134,580	48,000
有形固定資産の取得による支出	△743,950	△898,243
有形固定資産の売却による収入	57,342	61,121
投資有価証券の取得による支出	△4,168	△2,140
保険積立金の払戻による収入	6,273	44,869
その他	△33,703	△74,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△637,625	△874,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	286,444	△61,200
長期借入れによる収入	719,380	1,690,000
長期借入金の返済による支出	△562,007	△1,704,930
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△85,729	△83,893
社債の発行による収入	981,420	610,963
社債の償還による支出	△77,000	△206,640
自己株式の取得による支出	△163	△199
配当金の支払額	△189,177	△75,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,073,166	168,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94,430	2,868
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,304,359	△23,031
現金及び現金同等物の期首残高	2,942,421	3,813,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,246,781	3,790,783

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,332,339	895,134	1,606,380	422,316	10,256,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	841,080	12,417	111,194	1,933	966,625
計	8,173,420	907,552	1,717,574	424,249	11,222,796
セグメント利益	297,735	58,995	160,487	32,893	550,112

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	550,112
セグメント間取引消去	29,658
四半期連結損益計算書の営業利益	579,771

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,567,333	875,723	1,259,269	298,254	10,000,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	871,549	14,868	133,986	316	1,020,721
計	8,438,882	890,591	1,393,255	298,571	11,021,302
セグメント利益又は損失(△)	334,627	39,078	61,192	△3,769	431,129

- 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	431,129
セグメント間取引消去	16,285
四半期連結損益計算書の営業利益	447,414

- 3 報告セグメントの変更等に関する事項

(受取ロイヤリティーの表示方法の変更)

従来、当社が技術供与先である海外連結子会社から受け取る受取ロイヤリティーを個別財務諸表において「営業外収益」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「売上高」に含めて計上することに変更いたしました。

この変更は、近年の海外連結子会社での生産・販売活動の拡大に伴い、当社の技術支援等の対価である受取ロイヤリティーが増加したこと、及び第1四半期連結会計期間において海外子会社の工場拡張が完了し生産能力が増強されたこと等を機に、今後も継続して受取ロイヤリティーの増加が見込まれると判断したことから、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行うものであります。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、日本セグメントにおける前第3四半期連結累計期間のセグメント間の内部売上高又は振替高、及びセグメント利益がそれぞれ86,191千円増加しております。一方、セグメント間取引消去の利益が86,191千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績の状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第3四半期 連結累計期間 (千円)	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	4,297,063	4,446,657	3.5	5,623,349
	ウインドウレギュレーター用部品	964,919	886,210	△8.2	1,262,019
	ロック用部品	521,375	631,852	21.2	665,838
	エンジン用部品	1,456,083	1,303,861	△10.5	1,895,736
	足回り用部品	1,164,259	986,521	△15.3	1,526,707
	その他	1,019,209	1,127,330	10.6	1,334,005
	小計	9,422,911	9,382,433	△0.4	12,307,658
その他	833,259	618,147	△25.8	1,073,281	
合計		10,256,171	10,000,580	△2.5	13,380,939

(注) 1 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	2,001,133	19.5	2,037,231	20.4	2,609,417	19.5

